

病院と地域をむすぶ



パイプライン

2018年9月号

発行：2018.9.14 総合病院 南生協病院
電話番号 052-625-0373



九月

一日外来患者数：784.5人 一日入院患者数：303.6人
ベッド稼働率：97.0% 救急車：236台 手術数：147件

2017年度

子宮頸部がん9件発見

全員早期

頸部子宮がん検診2017年度のまとめを報告します。

2017年度は約8500件の頸部子宮がん検診を実施し、子宮がんが9件見つかりました。

その全例が早期癌（前癌病変を含む）でした。

2017年度の特徴は子宮がん9件のうち5件が初めて子宮がん検診を受けた方から見つかったことです。また、そのうちの2件は過去に子宮がん検診を受けたことがあるが南医療生協での子宮がん検診受診は初めての方でした。つまり、どこで受診するかが重要です。

一般的に子宮がん検診の品質と言えば

- ①子宮がんが出来やすい部位の細胞を確実に採取してくれる婦人科医師（ほぼここで決まります。）
- ②診断しやすい綺麗な染色
- ③異型細胞を確実に見つける細胞検査士と細胞診専門医

この3項目が揃っている施設での受診をお勧めします。ちなみに南医療生協はこの条件を満たしております。

子宮がんを含めて多くの早期癌は自覚症状がありません。がん検診でないと見つからないことが多いです。

子宮頸部がんは予防できるがんと言われています。今まで子宮頸部がん検診を受けたことがない方はぜひ南医療生協で受診されることをお勧めします。

検査科課長 梅田



10月20日(土)17時～
南生協病院1階エントランス
7階緩和ケア病棟デイルームにて

がん征圧の想いをルミナリエバッグに入れて展示を行います。

バッグ1袋500円です。収入の一部は日本対がん協会に寄付します。

南生協病院緩和ケア病棟

おしらせ

新しい情報などをご紹介します

今年も 11月11日(日) 午前10時から午後3時
大高健康まつりを開催します。今年も楽しくためになる企画を用意していきます。

地域包括ケア病棟のいま

「生活リハビリやっています」

病院は治療のためにベッド生活を余儀無くさせ、ベッド生活が続くとベッドから起き上がることも大変エネルギーのいる動作に変化します。高齢者ならなおのこと。地域包括ケア病棟では他の病棟とは違いベッドから離れる生活を支援します。例えば、食事はイスに座って、日中は洋服に着替え、お風呂は湯船に浸かってといった言ってみれば普通の生活を病院の中で行います。それを生活リハビリと言っています。リハビリと言ってもリハビリ職員ではなく看護師や介護士、看護助手がサポートします。



南生協病院がすすめる「治しささえあう医療」は入院でも皆さんの暮らしを支えます。次回のパイプラインでは退院支援についてご紹介します。 リハビリ科科長 梅原尚子

おたがいさま事例交流会に参加して

今回、初めておたがいさま交流会に参加させていただきました。

私は、看護学生の時から生協に参加していたので、生協歴は6年目をむかえます。発表会に参加して、「私は組合員さんの活動を知らなさすぎたな」と、反省してしまうほど素敵な事例を知ることが出来ました。また、各支部で仲間増やしや、孤立化の防止を目標に毎週お茶会を開くなど、組合員さん発信で活動されていることに、とてもパワフルさを感じました。

さらに、まだ加入されていない方や、加入したけど地域での班会などにお誘い出来ない組合員さんの家などがチェックされていて驚きました。今回の学びを活かして、病院から地域へつなげていけたらと思います。(3A病棟 看護師 安藤美貴)

南生協病院の
ふれあいルームで9月30日まで
で実施中

今回も季節のイラストが展示
されています。
さて、誰が作ったものでしょう
か？

秋のイラスト展示中

